

# ペガサスの四辺形からさがす秋の星たち

秋の星座には1等星が一つしかなく非常に寂しい印象があります。明るい星が少ないと星や星座を探すのもむずかしいですが、そんなときに役に立つのが「秋の四辺形」またの名を「ペガサスの四辺形」です。

## 四辺形はどこに見える？



● フォーマルハウト

南

秋の四辺形は2等星3つと3等星1つからなる四角形です。都会の空だとやや見つけづらいですが、比較的すっきりした形ですし、まわりには明るい星があまりありませんから、“形”をしっかり覚えておけば見つけられるでしょう。

秋の四辺形はほぼ頭の真上を通ります。10月中～下旬であれば夜21～22時ころ、11月上～中旬であれば夜20～21時ころです。

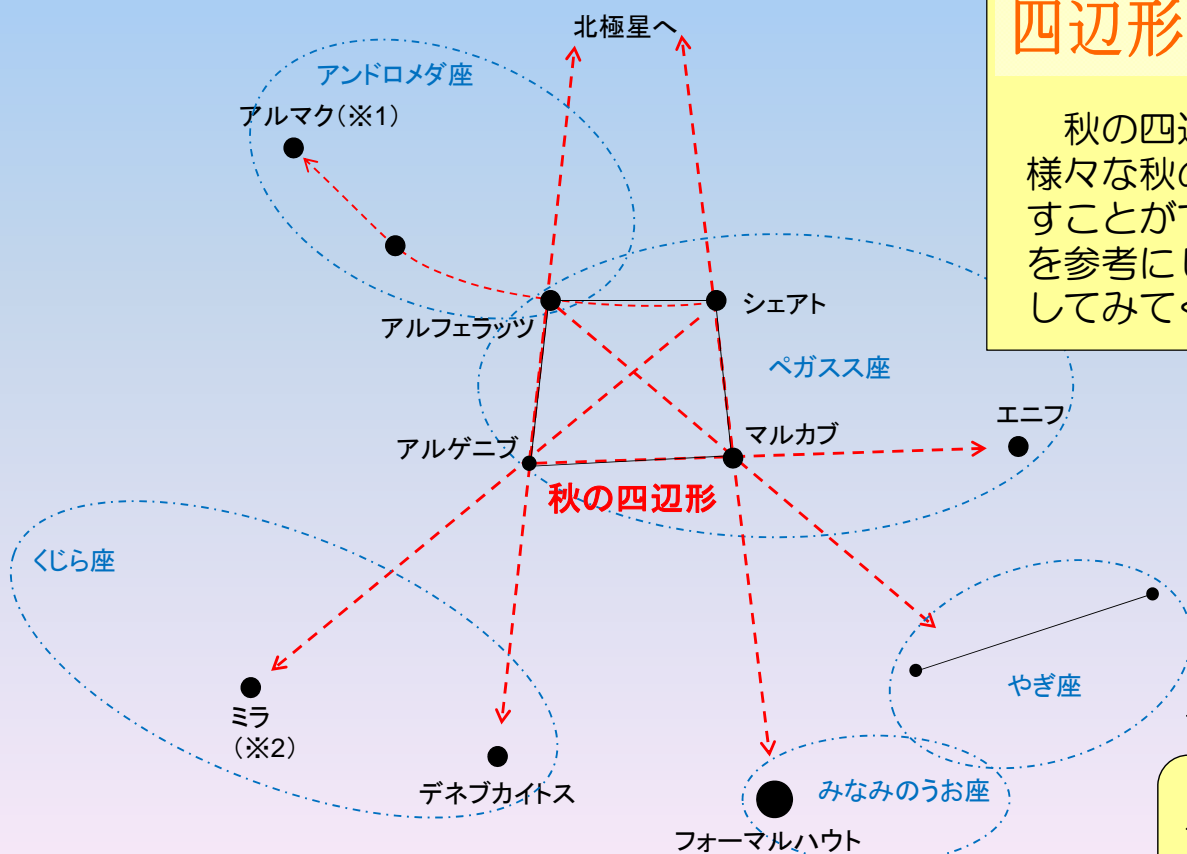
### 秋の四辺形の見え方

真南を向いて頭の真上を見上げれば見つけることができます(×印が天頂)。

頭の真上近くに見える時間帯は、星座早見盤などで確かめてみましょう。

## 四辺形から秋の星へ

秋の四辺形を利用すると、様々な秋の星・星座をさがすことができます。この図を参考にして、ぜひ空で探してみてください。



星座は星と星を結ぼうとはせずに、だいたいの場所をつかめればいいのです。

※1 アルマク:色の対比がきれいな二重星

※2 ミラ:約330日の周期で2等星から10等星まで明るさを変える変光星